

全国発信記事 ▲▽▲▽ 小名浜支部

▲▽▲▽「いわき市」へ申入れ▲▽▲▽

小名浜支部は4月15日に、いわき市に船員の住民税減免をはじめとする船員政策について申し入れを行った。申し入れには、大友康夫いわき市議会議員にご同行いただいた

はじめに奈良章小名浜支部長から、申し入れの趣旨を丁寧に説明し、理解を求めるとともに、国際貿易港と漁船漁業基地であり、福島県の実業と水産業の経済拠点として重要な役割を担う小名浜港に、船と船員はこれからも必要不可欠な存在で、将来の福島県の物流や漁業の発展に、船員職業を支援する各地方自治体の協力がますます必要であると、船員政策の早期の実現を要望した。

主な申入れ内容

- ①船員における住民税の減免について
- ②海に親しむ活動の推進について
- ③海洋プラスチックごみへの対応について一などを要請した。

いわき市のご対応 〈渡邊伸一郎農林水産部長がご対応〉

日頃から海の恩恵に対し重要性を認識しており、各産業の後継者育成の重要性について発信を行っているとした上で、

▽船員の住民税減免について

税の公平性から特定職種を優遇することは難しいが、他の自治体の動向を注視しながら検討したい一との考え方を示した。

▽海に親しむ活動について

水産業界の後継者不足問題は認識している。高校生・一般向けの漁業体験による就業に繋げる取り組みの他、子ども達へ釣り体験などを通じた取り組みを今後も行って行きたい一との考え方を明らかにした。

「海員だより」